



台湾で行われた博覧会

・「茶畑アラス」のようなものは、ただ深蒸し茶だけを提供するのでは流行らないため、いろいろなお茶を提供し、こだわりを持った説明を行うなどの特色あることをしないとお客様は来ないと思います。

・お茶を飲みに来てくれた人が驚くような仕掛けが必要です。高い料金を払ってでも満足して帰り、また、繰り返し訪れてもらえるような仕掛けが必要と考えます。

〈市民の方を知っていただきたいことは？〉

・手もみは奥が深く、一般の方にはなじみにくいが、機械で揉んだお茶と手で揉んだお

茶の味の違いを知っていただきたい。

・菊川の保存会は、県内でも一番活発に活動していることを知って欲しいです。若い人達が頑張ってくれているということをも市民の方に伝えたいです。

・市民の方には、お茶をたくさん飲んでいただきたいです。保存会としても、お茶を作っている茶農家としても地元のお茶をたくさん飲んでいただきたい。

〈議会や行政に知ってほしいことや伝えたいことは？〉

・保存会は、ほとんどボランティアで活動しています。保存会の若い会員のためにも補助金の一部が出やすくなるとか、肥料を安く買えるなど何かメリットがあると励みにもなり助かります。

・小学校の体験教室なども無料で行っていますが、人件費や材料費などの費用は掛かるため、市からの補助をお願いしたいです。

・保存会の活動は、自身の農業が安定しているからこそ成り立ちます。農業にもICTを活用するスマート農業などを他市よりも早く取り入れる支援をしていただきたいです。手もみ技術を継承していくために研修が必要となるので、参加料や指導者への謝礼を補助していただきたいです。



ご協力ありがとうございました。

〈取材協力〉

小笠手揉保存会顧問 赤堀 実さん
 菊川手揉保存会会長 宮城 孝雄さん
 小笠手揉保存会会長 宮城 克司さん
 静岡県手揉会理事 進士 誠さん